

第28回

うつのみやこども賞だより

平成23年度 第10回

市内5・6年生の選定委員さんたちが、月に4冊の本を読んで、年間で一番人気の高かった本に「うつのみやこども賞」を贈っています。

《今月選ばれた本》

『願かけネコの日』

那須田淳／作 スカイエマ／絵 (学研教育出版)



～読んだ本の感想より～

- 3つの願いをかなえるために、コースケとオーシャンの友情が深まっていくところが面白かった。
- だっちゃん意外に女の子らしいところがあるんだなと思いました。だっちゃんが今度はよい人生を送れるといいなと思いました。
- 3つの願いは全部達成できなかったけれど、コースケが全力でテニスをがんばっていたのですごいなと思いました。
- コースケが願かけをかなえられるか？そんな気持ちで読みました。コースケにはテニスを続けて行ってほしい。
- コースケはあと6日で死んでしまうのに、よく平気でいられると思いました。「生きたい」という気持ちは大切なんだなと思いました。

『あわい』 染谷果子／作 (小峰書店)

- むじな火を取り戻すことができ、本当によかった。
- あやかしが見えるきなこネエとあわいはすごいと思いました。私もあやかしに会ってみたいと思いました。
- 百鬼夜行のためにたくさんの人たちが協力してくれるのがいいと思った。
- 〈くやまわろ〉が一人ぼっちにならなくてよかったです。面白かった。
- 夜を守るあわいとあやかしたちがかっこよかったです。百鬼夜行が成功してよかったです。

『いつでもだれかの味方です』 田中直子／作 (朝日学生新聞社)

- 木内先生の行動の先が読めなくて少し面白かった。
- 応援部がつぶれないように一生懸命努力するハルタの姿はすごいと思いました。
- 応援部の活動が面白かった。面白そうな部に人が入ってこないのが不思議でとっても読みたくなった。
- ハルタのあきらめない気持ちで、休部にはなってしまったけれど廃部にならなかったのがよかったです。
- この本はいつもだれかのことを応援している人がいて、とてもいいお話でした。応援部のピンチをみんなで乗り越えていくところがすごくよかったです。

『お父さんのバイオリン』 ほしおさなえ／作 (徳間書店)

- 梢が苦い過去を乗り越えたところに安心したし、よかったなと思いました。
- ちょっと不思議な話だった。
- 梢のお父さんが残したCDが見つかったところが感動的だった。昔のお父さんに会えたという、なんだか神秘的な物語だった。
- 梢がお父さんの形見のバイオリンを熱心に弾いているところがよかった。
- 梢が事故から立ち直っていくところや、お父さんのことを知っていくところがよかったです。